

## 階下フロアのアトラクション

### ハリー・S・トルーマン： その人生と時代

サンダース&ブランチ・ソスランド・ギャラリー内

第33代大統領の非凡な人生を辿って、若い皆さんもハリー・トルーマンの生涯を体験してみましょう。体験活動には、当時の服装の試着、郵便の仕分け、書簡書き、選挙運動バッジ作り等があります。この展示では、ハリー・トルーマンの生涯を5つの部分に分けて紹介します。

- 1 家族**  
妻のベスとの長年の夫婦愛と娘のマーガレットを得た喜びとを知らずには、ハリー・トルーマンの生涯を理解することはできません。ここでは、この3人の関係に注目します。
- 2 若年期**  
この展示では、ハリー・トルーマンの人格を形成した経験に焦点を当てます。故郷インディペンデンスとグランビューの家族の農場で過ごした子ども時代、若かった頃の銀行員時代、実業家として成功しようと努力したこと等が紹介されます。「Military Service (兵役)」では第一次世界大戦で積んだ指揮官の経験、「Home from the War (戦争からの復讐)」では結婚と紳士用服飾品店の開店などを年代順に辿ります。
- 3 政治家としてのキャリア**  
「Public Service (公職)」では、公共事業プログラムの成功を含むトルーマンの郡政治時代に注目し、「Boss Tom (ボスのトム)」では、トム・ペンダーガスト率いるカンザスシティの政治機構に関することへの迷い、「Senator (上院議員)」では、ミズーリ州代表上院議員として首都ワシントンで活動したトルーマンにとっての『最も幸せな10年間』を語ります。
- 4 ホワイトハウス時代**  
「From the Senate to the White House (上院からホワイトハウスへ)」はトルーマンのたった82日間の副大統領時代に焦点を当てます。「Living in the White House (ホワイトハウスでの生活)」では大統領官邸生活の私的な側面、「The Traveling President (旅する大統領)」では故郷インディペンデンスへの里帰り、フロリダ州キーウエストでの休暇、その他の行き先がトピックです。
- 5 ミスター民間人**  
最後のセクションは、トルーマンの引退後のインディペンデンスでの生活を紹介します。トルーマン図書館を開設し、若い人々に自国の歴史と政府について知ることの大切さを説き、ベテラン政治家として政治に手を貸しました。



### BENEFACTORS SPECIAL EXHIBITION GALLERY (後援者特別展示ギャラリー)

ここでは、一年中、当博物館の特集イベントとして興味深い仮設展示を多数実施しています。



ホール|  
ハリー・S・トルーマン：1884 - 1972  
ステート・オブ・ミズーリ・オーディトリウムと呼ばれるホールで、ハリー・S・トルーマンの一生を辿る映画を上映します。アカデミー賞受賞プロデューサーのチャールズ・グッゲンハイムによる45分間の映画は、毎時30分に始まります。特に変更がない限り、毎日の最終上映は3時30分です。

お手洗い  
お手洗いは当館の階下フロアと東側ロビー付近にあります。

エレベータ  
エレベータはホワイトハウス・ギャラリーの右側にあります。

博物館ストア  
当博物館ストアでは、ハリー・S・トルーマン大統領とその後世への遺産および大統領職に関する品々を販売しています。メイン・ロビーにあり、博物館入場料は必要ありません。お電話は816-268-8261まで、オンライン・ショッピングはwww.trumanlibrary.orgでどうぞ。

障害者のご利用について  
車椅子や、聴覚障害者用の音声展示ガイド活字版が、先着順にお使いいただけます。入館受付でお問い合わせください。

コート掛け  
コート掛けはホワイトハウス・ギャラリーの左側にあります。

遺失物  
遺失物のお問い合わせは入館受けまで、または816-268-8261、800-833-1225 (無料) にお電話ください。

メンバーシップ  
トルーマン図書館協会の会員の皆様には、無料で入館、展示内覧会へのご招待、その他のVIP優待制度があります。入会はwww.trumanlibrary.org から、または 816-268-8237へ電話でお申し込みください。



500 West US Highway 24 | Independence, Missouri 64050  
816.268.8200 | 800.833.1225 | www.trumanlibrary.org

# 博物館ガイド



ハリー・S・トルーマン  
図書館&博物館





## 心からようこそ

ハリー・S・トルーマン図書館&博物館にご来館有難うございます。ハリー・S・トルーマンの生涯はアメリカらしさに溢れています。インディペンデンスという小さな町でささやかに始まり、世界で最も有力な指導者の地位にまで到達しました。

ハリー・S・トルーマン図書館&博物館で、第33代アメリカ大統領の波乱に満ちた輝かしい活躍をご覧ください。8年間近くにわたり、合衆国と世界が危機的時期を乗り切れるよう指導者の役目を果たしました。その時期には原爆投下を含む第二次世界大戦の終結、国際連合とNATOおよびマーシャル計画の形成、ベルリン空輸作戦の成功、冷戦時代の幕開けなどが含まれます。

1957年7月の落成式以来、ハリー・S・トルーマン図書館&博物館は何百万人もの来館者に感動を与えてきました。あなたも、当館の興味深い展示や大量の保存資料をご覧ください。トルーマン時代にどのような力強い決断が下されたのかが分かります。



## メインフロアのアトラクション

トーマス・ハート・ベントンの壁画  
「Independence and the Opening of the West (インディペンデンスと西部への入り口)」という題名の大きな壁画がロビーを飾っています。

ホール  
アカデミー賞受賞チャールズ・グッゲンハイム監督による映画「ハリー・S・トルーマン：1884-1972」がステート・オブ・ミズーリ・オーディトリウムで上映されます。

ホワイトハウス・ギャラリー  
多忙な大統領の典型的な一日について読んでみましょう。「責任は私が取る」という標語プレートのオリジナルが展示の中心です。

大統領執務室の複製  
1950年当時そのままに飾られた世界最強の指導者の執務室がつぶさに観察できます。

## ハリー・S・トルーマン：大統領時代

ホール・ファミリー財団プレジデンシャル・ギャラリー内

- 1** 人生の準備期：紹介ビデオ  
このビデオは、メインロビーの東側にあるフランシス・ファミリーズ財団シアターで上映され、ハリー・トルーマンの少年時代から1945年4月の大統領就任までを紹介します。月曜日から土曜日は9時30分から日曜日は12時30分から、20分ごとに上映します。
- 2** 最初の4ヶ月  
このセクションは、トルーマン大統領時代の激動の開始期に注目し、それを反映する当時の新聞のトップ記事などを紹介します。
- 3** 戦後のアメリカ  
ここでは、戦後の経済再転換と1947年以降の好景気に注目します。展示には、食料品がいっぱい入った年代物の冷蔵庫や、当時の番組、コマーシャル、映像などを画面に表示する1950年代のテレビが含まれます。
- 4** 冷戦時代が始まる  
このギャラリーの見所は、冷戦の元凶を説明する長さ9フィートのビデオ画面、ベルリン空輸作戦を象徴して天井から吊り下げた594機の模型飛行機など。写真や展示ケースを使ってトルーマン・ドクトリン、マーシャル計画、およびNATO設立を解説します。

**5** イスラエル国の承認  
トルーマンの再選を脅かした時事問題の一つを取り上げます。展示品には、イスラエル初代大統領がトルーマンに贈ったトローの巻物などが含まれます。

**6** 大統領選挙年の決断：  
それを導くのは何か  
対話型シアターでは、大統領の意思決定過程に接することができます。トルーマンが、イスラエル国の承認、アメリカ軍内の人種分離の廃止などの決断に正面から取り組んだ様子が分かります。

**7** 世紀最大の番狂わせ  
1948年再選を目指して活動中にトルーマンが直面したチャレンジに関する展示です。それには「地方遊説」の訪問先を全部示す大型地図、複数の訪問先で収録されたトルーマン演説の音声抜粋などが含まれます。

**8** 冷戦の過熱化  
ここでは、東半球での問題を解説するマルチメディア・プログラムと、トルーマンが大統領二期目に直面した朝鮮戦争等の政治的難関を扱ったディスプレイがあります。

**9** 政府内のスパイ：  
スパイ探しをどこまで追及するか  
この対話型シアターで、忠誠とスパイ行為の可能性に関する決断過程に参加してみましょう。

**10** 1952年のアメリカ  
ライフ誌が、トルーマン退任間近のアメリカを写真で如実に捉えています。エラ・フィッツジェラルドやメル・トーメの歌が1952年収録のビデオ画像のバックに流れます。

**11** 大統領退任  
ドワイト・D・アイゼンハワー大統領就任式では、トルーマン大統領は、批判や人気下落にもかかわらずくつろいだ様子でした。1952年のテレビがトルーマンの退任演説の抜粋を流します。二期の大統領職を振り返るフリップブックも設置されています。

**12** レガシー・ギャラリー  
ジェームズ・B・ナター・ファミリー・レガシー・ギャラリーには、トルーマンの遺産を語る彫りガラスのパネルと、ブロンズ製の等身大トルーマン像が設置されています。トルーマンの継承者としてその精神を発揮する著名政治家のビデオも上映されます。

## メインフロア



## 中庭

墓地  
この安らかな空間には、ハリー&ベス・トルーマン夫妻、娘のマーガレットとその夫E・クリフトン・ダニエルの墓が安置されています。この中庭には米国在郷軍人会の記念碑「自由の炎」、歩道、ベンチなども設置されています。

トルーマン大統領の執務室  
トルーマン大統領は1957年から1966年の間この執務室を使用しました。ホワイトハウス時代の後、ここで公式訪問者との会見その他の様々な執務をおこないました。執務室は隣接するギャラリーから見学でき、このギャラリーでは、トルーマンの大統領退任後の生活をテーマにした展示が設置されています。